

# 日本人の死生観のルーツ

死生学研究会資料 ■ ②2009/11/3

年代	日本人の神魂観	あの世観・神仏習合	仏教の歴史と日本仏教	西洋世界
BC 1 万年 縄文時代	神は、山や川や岩等に宿り、周りの全ての事物に靈魂が宿る (アニミズム・精霊信仰)。	<b>土着信仰</b> …… ①人が死ぬと、魂は先祖の待つあの世(あべこべの世界)に逝く。 ②人が死ぬと初め、荒御霊(あらみたま)で、33年位で、和御霊(にぎみたま)・祖霊になる。祖霊は、里近くの山に昇り、正月やお盆に子孫のもとに帰る。祖霊→祖先神に。	<b>原始仏教</b> (釈迦: BC 463?~383年?) がインドに誕生する。 三法印・四聖諦・八正道・十二縁起等。 小乗仏教→スリランカ・東南アジアに…。	(一神教) <b>ユダヤ教</b> BC 6世紀頃 (ヤーウエ)
弥生時代 (BC 400~) 西暦元年	<b>神話の世界</b> …			<b>→キリスト教</b>
大和時代 (239頃)	平面上の世界から垂直方向の世界へ。		紀元前後に <b>大乘仏教</b> がインドに起こり、中国・朝鮮を経て日本に伝わる。	キリスト: (BC 4年頃~ AD 30年頃)
飛鳥時代 (593頃)	高天原、葦原の中つ国、根の国。	<b>仏教伝来</b> (538年)…神仏習合が起こる。神道が体系化される。	<b>聖徳太子</b> は、仏教(大乘仏教)・儒教を重んじた。	<b>→イスラム教</b>
奈良時代 (710~) 平安時代 (794~)	<b>8世紀初め、古事記と日本書紀が完成</b> →これは高天原の神話を中心に他の神話を取り入れてまとめられた。	<b>キリスト教伝来</b> (1549年)。	<b>最澄</b> (天台宗) <b>空海</b> (真言宗)	ムハンマド: (570年~ 632年) (アッラー)
鎌倉時代 (1192~) 室町時代 (1338~) 安土桃山 (1593~) 江戸時代 (1603~)	いざなぎ・いざなみの神話、天照大神→神武天皇→歴代天皇。	江戸幕府は、キリスト教を禁じ、檀家制度・宗旨人別帳等で、宗教統制を行った。	<b>法然</b> (浄土宗) <b>親鸞</b> (浄土真宗) <b>栄西</b> (臨済宗) <b>道元</b> (曹洞宗) <b>日蓮</b> (日蓮宗)	
明治時代 (1868~)	江戸末期に庶民の中から <b>新宗教</b> が次々と誕生し、現在に至っている。	明治新政府は、神仏分離を行い、神道を <b>国家神道</b> とした。 ——昭和20年—— 終戦と同時に国家神道は終焉し、 <b>宗教の自由</b> が確立される。	日本人は1300年近く、大乘仏教を仏教の全てと信じていた。明治になって <b>原始仏教</b> が伝わり、仏教の真髓が明らかになった。	(カトリック・プロテスタント) (スンニ派・シーア派)
大正時代 (1912~)				
昭和時代 (1926~)				
平成(現在) (1989~)				

参考文献: 日本の宗教(田中治郎著・日本文芸社)、魂は千の風になりますか?(ひろさちや著・幻冬舎)、  
星の角たち(佐々木閑著・大蔵出版)、死に直面したあなたに(内田 誠著、死生学研究会)。

© 2009 死生学研究会